

日本農芸化学会2018年度大会

ランチョンセミナー企画募集

ご案内・申込書

日本農芸化学会は、農芸化学の進歩を図り、それを通じて科学、技術、文化の発展に寄与することを目的として、1924年に設立された学術団体です。2014年に創立90周年を迎えました。

会員数(学会ホームページより2017年7月10日引用。2017年2月末現在)

名誉会員	有功会員	シニア	一般	教育	学生会員	団体会員	賛助会員	国外	合計
15	199	363	6,989	66	2,801	269	98 (口数 203)	58	10,858

10,000名を超える学術団体で、大会の参加登録は例年約5,000名と、90年の歴史と伝統のある日本農芸化学会で、ぜひランチョンセミナーを介し貴社のテクノロジー、製品、サービスなどを参加者にお伝えください。

公益社団法人 日本農芸化学会

会 長 佐藤 隆一郎

日本農芸化学会2018年度大会

実行委員長 小林 哲夫

(名古屋大学大学院生命農学研究科)

● 大会概要

- 名称
和文名 日本農芸化学会 2018 年度大会
英文名 The 2018 Annual Meeting of Japan Society for Bioscience, Biotechnology, and Agrochemistry
- 開催機関名称
主催 公益社団法人 日本農芸化学会
運営 日本農芸化学会 2018 年度大会実行委員会
- 会期
2018 年 3 月 15 日(木)～ 18 日(日)
- 会場
3 月 15 日(木) :ホテルナゴヤキャッスル(現ウェスティンナゴヤキャッスル)
3 月 16 日(金)～18 日(日):名城大学
- 参加者数
約 5,000 名 ※招待者等含む
- 大会開催の目的と意義

日本のバイオサイエンスやバイオテクノロジーの基幹であります当学会の大会には、日本全国の大学・附属研究施設、国公立の研究所・試験研究機関、民間会社・研究機関、バイオ関連を含むベンチャー企業、知財保守関連法人等より、5,000名程の研究者が集まります。大会では「生命・食・環境」の広範囲な分野をカバーする最新の研究成果が発表・討論され、情報交換が行われます。

私ども実行委員会は、全力を挙げて国際的にも水準の高い大会の成功のために努力したいと念じている次第であります。また、本大会は、生命・食・環境研究の中核を担い、バイオサイエンスやバイオテクノロジーを基幹としてその産業化をめざす、世界に類を見ない総合科学を推進する場であり、21世紀にふさわしい研究推進のために開催するものであります。そして、交流、研究発表、研究情報の交換の場の提供を通じて、研究の更なる振興を図るとともに若手研究者の育成も行っております。

●日本農芸化学会2018年度大会実行委員会 ※○:係代表 ※2017年6月9日現在実行委員会リスト

実行委員長

小林哲夫 名古屋大学・生命農学研究科

副実行委員長

吉村 徹 名古屋大学・生命農学研究科

顧問

太田明德 中部大学・応用生物学部

小原章裕 名城大学・農学部

総務

○ 西川俊夫 名古屋大学・生命農学研究科

○ 加藤雅士 名城大学・農学部

田村廣人 名城大学・農学部

中崎敦夫 名古屋大学・生命農学研究科

木村 眞 名古屋大学・生命農学研究科

柴田貴広 名古屋大学・生命農学研究科

金丸京子 名古屋大学・生命農学研究科

会計

○ 小鹿 一 名古屋大学・生命農学研究科

中川 優 名古屋大学・生命農学研究科

近藤竜彦 名古屋大学・生命農学研究科

会場

○ 中野秀雄 名古屋大学・生命農学研究科

○ 森上 敦 名城大学・農学部

服部東徳 名古屋大学・生物機能開発利用研究センター

氏田 稔 名城大学・農学部

灘野大太 名古屋大学・生命農学研究科

奥村裕紀 名城大学・農学部

山篠貴史 名古屋大学・生命農学研究科

岩崎雄吾 名古屋大学・生命農学研究科

武田 眞 名古屋大学・生物機能開発利用研究センター

大島健司 名古屋大学・生命農学研究科

塚越啓央 名城大学・農学部

受付

○ 吉田久美 名古屋大学・情報科学研究科

浅川 晋 名古屋大学・生命農学研究科

松本省吾 名古屋大学・生命農学研究科

林 利哉 名城大学・農学部

飯島信司 名古屋大学・工学研究科

西島謙一 名古屋大学・工学研究科

長澤麻央 名城大学・農学部

金岡英徳 名古屋大学・工学研究科

志水元亨 名城大学・農学部

授賞式・受賞講演

○ 前島正義 名古屋大学・生命農学研究科

榎原 均 名古屋大学・生命農学研究科

石黒澄衛 名古屋大学・生命農学研究科

前尾健一郎 名古屋大学・生命農学研究科

中西洋一 名古屋大学・生命農学研究科

懇親会

○ 下村吉治 名古屋大学・生命農学研究科

○ 堀尾文彦 名古屋大学・生命農学研究科

小林美里 名古屋大学・生命農学研究科

北浦靖之 名古屋大学・生命農学研究科

広報・プログラム

○ 饗場浩文 名古屋大学・創薬科学研究科

青井啓悟 名古屋大学・生命農学研究科

森山龍一 中部大学・応用生物学部

金政 真 中部大学・応用生物学部

小田裕昭 名古屋大学・生命農学研究科

湊健一郎 名城大学・農学部

安立昌篤 名古屋大学・生命農学研究科

北 将樹 名古屋大学・生命農学研究科

シンポジウム

○ 牧 正敏 名古屋大学・生命農学研究科

人見清隆 名古屋大学・創薬科学研究科

森上 敦 名城大学・農学部

山口秀明 名城大学・農学部

本多裕之 名古屋大学・工学研究科

柴田秀樹 名古屋大学・生命農学研究科

高原照直 名古屋大学・生命農学研究科

展示会・ランチョンセミナー

○ 松田 幹 名古屋大学・生命農学研究科

邊見 久 名古屋大学・生命農学研究科

上口美弥子 名古屋大学・生物機能開発利用研究センター

神藤定生 名城大学・理工学部

奥村裕紀 名城大学・農学部

ミキサー

○ 吉村 徹 名古屋大学・生命農学研究科

伊藤智和 名古屋大学・生命農学研究科

ジュニア農芸化学会

○ 北島 健 名古屋大学・生物機能開発利用研究センター

佐藤ちひろ 名古屋大学・生物機能開発利用研究センター

新美友章 名古屋大学・生命農学研究科

産学官学術交流委員会フォーラム

○ 兒島孝明 名古屋大学・生命農学研究科

志水元亨 名城大学・農学部

近藤竜彦 名古屋大学・生命農学研究科

Frontiersシンポジウム

○ 兒島孝明 名古屋大学・生命農学研究科

大島健司 名古屋大学・生命農学研究科

安立昌篤 名古屋大学・生命農学研究科

近藤竜彦 名古屋大学・生命農学研究科

北浦靖之 名古屋大学・生命農学研究科

小林美里 名古屋大学・生命農学研究科

柴田貴広 名古屋大学・生命農学研究科

伊藤智和 名古屋大学・生命農学研究科

高原照直 名古屋大学・生命農学研究科

● 日本農芸化学会2018年度大会(名古屋) 収支予算案

(1) 収入の部

費目	予算額	備考
(1)参加費 大会参加および懇親会参加	40,000,000	一般会員・学生会員・非会員 (事前+当日)
(2)ランチョンセミナー共催費	10,000,000	18社予定
(3)展示会出展費	27,000,000	出展企業:機器・試薬・各種受託サービス等研究支援企業、製薬・食品・飲料等企業、アカデミック団体、書籍販売等
計	77,000,000	

(2) 支出の部

費目	予算額	備考
(1)講演関係		
ホテルナゴヤキャッスル(現ウエスティンナゴヤキャッスル)	12,000,000	講演会・懇親会会場、付帯設備、機材・設営、等 諸経費
名城大学	55,000,000	会場、展示全般、付帯設備、機材・設営、業務委託、スタッフ等 諸経費
(2)その他	10,000,000	実行委員会開催、プログラム、通信運搬、雑費 等
計	77,000,000	

※2017年7月11日現在

● ランチョンセミナー開催概要

- (1) 目的 企業の新製品、活動(貴社の寄付金による社会活動など)を発表
- (2) 開催日程 2018年3月16日(金)、17日(土)、18日(日)の3日間
- (3) 開催時間 大会の昼食時間 50分
1日3社から5社程度の並行開催になります。
昼食は整理券を発行いたします。整理券は大会側で用意します。
- (4) 会場 大会講演会場を利用
- (5) 講演形式 1セミナー 50分以内。液晶プロジェクターのみ使用。
日本農芸化学会と貴社との共催といたします。
- (6) 共催費 1セミナー 540,000円(消費税8%を含む)
大会参加証を5枚提供いたします。懇親会への参加費は含まれておりません。懇親会に参加される場合は、当日会場にて当日参加の懇親会費をお支払いいただきご参加ください。
会場係員1名(照明担当)、映像・音響設備を提供します。
プログラム集(冊子)、プログラム検索(大会ホームページより)では、演題名、演者、座長名などテキストで紹介をいたします。また、講演要旨集 PDF版(電子ジャーナル)では、要旨を掲載いたします。
※昼食時間帯ですので、簡単な昼食と飲料(1,200円程度/1食)を別途ご負担願います。発注数は会場によって席数が異なりますので、講演会場決定後に連絡いたします。発注は事務局にて一括発注といたします。
※お申込み後(E-mail、FAX等による申込受理後)は、原則取り消しはできません。したがって共催費の返金や未入金は認められませんのでご了承の上、お申込みください。
- (7) 申込方法 申込用紙に必要事項をご記入の上、申込先にE-mailまたはFAXでお送りください。
申込用紙に希望される発表日と会場の規模(席数)をご記入ください。
演題や演者が未定でも、お申込みはできます。
- (8) 申込締切日 2017年11月10日
- (9) 申込先 株式会社エー・イー企画 日本農芸化学会 2018年度大会展示会係
Tel. 03-3230-2744 Fax. 03-3230-2479 E-mail. e_18jsbba@aeplan.co.jp
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-4-4 岩波書店一ツ橋別館 4F
- 注意事項
- ・単なる製品説明ではなく、背景となる原理・理論の解説や役立つ応用例の紹介など、魅力ある新製品・新技術の解説講演になるよう工夫をこらしていただけると幸いです。
 - ・製品説明以外にも貴社の様々な活動(補助金や寄付金による社会活動など)の発表でも結構です。講演依頼される場合は貴社にて行って頂きます。
 - ・司会進行は貴社で行って頂きます。
 - ・本ランチョンセミナーと関連し、より具体的な個別の説明の場として、「附設展示会」および「バイオビジネスアピールエリア」のご活用も併せてご検討ください。
 - ・会場前には配布資料等を置くための机を用意します。
 - ・参加者へのお弁当配布は原則貴社にてお願いします。なお、必要であれば弁当の配布のみサポートいたしますのでお申し出ください。資料の配布は企業でお願いします。会場までのお弁当配布と回収は大会側で行います。
 - ・お申込み後に、請求書を発行いたします。お振込み期限は2018年2月末日です。
 - ・プログラム集(冊子)、プログラム検索(大会ホームページより)に掲載します。
- ご用意いただく原稿は、①テキスト:演題名・演者(複数演題の場合は演題順を記載)、座長・司会名。②講演要旨集 PDF版(電子ジャーナル)に掲載の要旨原稿(カラー可)の締切日予定日は 2017年12月13日です。

日本農芸化学会2018年度大会 ランチオンセミナー共催申込書

年 月 日

会社名: _____

所在地: (〒 _____)

一住所一

ご担当者: _____

_____ 部 _____ 課

TEL. _____ FAX. _____

E-mail*: _____

※必ずE-mailアドレスをご記入ください。

《講演内容》※演題、演者が未定の場合は未記入で結構です

演 題: _____

講演者名: _____

所 属: _____

発表希望日: 第1希望日 _____ 3月 _____ 日

_____ 第2希望日 _____ 3月 _____ 日

発表会場(希望される席数) 200席 以下 201席以上

講演概要<講演内容や演者等の情報を記載ください>

申込締切日: 2017年11月10日

※プログラムおよび講演要旨集の原稿締切日: 2017年12月13日